

まちづくりを考える会のかわら版

「まちづくりを考える会」は、「大口町まちづくり基本条例」にもとづき、各行政区から選出された代表24名で組織されています。地域の身近な課題の解決や、地域の特性を生かしたまちづくりなどを、地域の皆さんが一緒になって考えていくための地域自治のあり方について検討をおこなっています。現在では、3チームに分かれて、それぞれが主体的に活動しています。

セミナーチーム 自治意識・認識向上の機会づくり
情報発信チーム 報告書作成・各所へのPR、報告
フォーラムチーム 集大成となるフォーラム開催

これまでに取り組んできた活動

平成21年

11月27日 「まちづくりを考える会」発足

12月12日 高浜市シンポジウムへ参加

平成22年

1月15日 豊田市足助地区視察に向けた事前勉強

1月29日 豊田市足助地区視察

2月16日 グループワーク（豊田市足助地区自治システムの検証、大口町の地域課題の洗い出し）

3月16日 グループワーク（地域課題の原因の追求）

26日 グループワーク（地域課題の解決策の検討）

4月23日 グループワーク（解決策の実施主体の検討）、平成22年度事業計画の検討

5月27日 わが区紹介（区会組織の特徴など）、3チームへのグループ分け

※以降、各チームでの活動

7月8日 全体会の実施（各チームの進捗状況の報告、「地域自治セミナー」開催へ向けた準備）

7月25日 「地域自治セミナー」実施

8月5日 全体会の実施（地域自治セミナーの振り返り）

地域自治セミナーを終えて

前田 正三（セミナーチーム）

今回、「防災」を切り口に、地域自治について町民の皆さんと一緒に考える機会を作ろうと、群馬大学の片田先生に依頼して、セミナーを開催しました。

講演では、いつゲリラ豪雨が大口町に降っても不思議ではない豪雨災害の恐ろしさや、防災には「自助・共助・公助」それぞれが役割分担する必要があること。そして何より、今住民に必要なことは「行政に限界があるから自助」ではなく、「自分の命は自分で守る」「地域の安全は自分たちで守る」との考え方を持つことが大切だということです。大口町はまだコミュニティが良好ですが、今後の災害に備えて、より住民相互の交流を深め住みやすい町にしたいと思いました。

講演後におこなわれたワークショップでは、いろいろな意見が出ました。消防団員の不足、避難場所のあり方、自主防災会役員の任期、要援護者の把握方法等、今後解決しなければならない課題を住民自身で方法を考えて、安全で安心な大口町にしたいと思います。

まちづくりを考える会に懸ける思い

岩田 六郎（セミナーチーム）

今回の地域自治セミナーが盛況の内に終了できたことは、多くの方々のご協力の賜物と感謝しています。各地域より、多数ご参加いただき、これからの地域防災対策に大きく貢献されていくことを強く願っています。

講演会後には、多くの方から「講演会、良かったね！」と声を掛けていただきました。しかし、少し喜べない自分がいます。「自然災害から自分や家族の命、そして地域を守るのは私たち…」。片田先生のお話を聴いて、防災に限らず、私たちは自分たちの地域のことを、もっと真剣に考えなければならないと思いました。だからこそ今も、「もっともっと大勢の方たちに参加していただきたい」という思いを強く持っています。

いつか、3,000人、5,000人が集まれる超デカイセミナーは開けないでしょうか。効果も最大級だと思います。セミナーをやり終えた今は、こんな夢も実現できそうな気がします。一生懸命汗を流した24名の仲間とスタッフがいるから、「なんでもござれ」です。